

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

事業コード	46	事業名	商工会創生プラン全体運営管理事業			戦略コード	5	戦略名	環境変化に強い商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	創生プラン推進課	担当課長名	加藤のり子	施策コード	23	施策名	成果を重視した目標管理型運営の強化		

【事業内容】

<b>1. 事業実施当初の背景</b>												
PDCAサイクルを徹底し、事業の実効性を高めるために「事業評価研究会」を設置したこれまでの取組に加え、商工会創生プランを含めた今後の事業実施にあたっては、より一層成果重視の管理体制が必要となっている。												
<b>2. 事業のねらい</b>												
県連合会及び商工会の目標管理型運営を強力に推し進めていくため、評価機関の役割と評価の仕組みを定め、県連合会に「商工会創生プラン戦略・施策・事業評価委員会」を設置するとともに、商工会の業務全般を目標管理運営型にシフトし、成果を重視した仕事の仕方を定着させるための仕組みを整備する。												
<b>3. これまでの評価結果</b>												
					過年度	H29	B	H30	B	R1	B	R2
県連合会及び21商工会の事業評価を実施し、商工会創生プラン全体のPDCAサイクルを効果的に回している。評価委員会における商工会創生プランの評価結果の妥当性や評価制度についての意見を踏まえて実施要領の見直しを行った。												
<b>4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応</b>												
評価実施要領の運用実態を把握し、評価の観点や基準などが妥当か点検する。2期プラン策定委員会を設置して、原案等の取りまとめを行う。また、課題検討会を設置し、重要課題に係る対応方針を検討する。												

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
106	商工会創生プランの管理	事業評価制度に則り評価を行い評価委員会を実施するとともに、県連合会と21商工会が一斉に評価結果を公表した。	a	a	a	A
115	第2期商工会創生プランの策定	2期プラン策定に向けて、組織、事業、人材の3分野の課題検討会を設置し、課題の抽出や対応策の検討を行った。また、策定委員会において策定方針等の検討を行った。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	取組					取組コード	取組					取組コード	取組				
指標名	指標名					指標名	指標名					指標名	指標名				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

<b>1. 3つの観点からの評価</b>										
【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性					【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)					<b>a</b>
〈評価の理由〉 事業の実効性を高めるために商工会創生プラン全体のPDCAサイクルを効果的に回し、次なる10年先を見据えた商工会の目指す姿の実現のため、2期プランの策定につなげていくことが必要である。										
【有効性の観点】事業目標の達成状況					【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)					<b>a</b>
〈事業の目標は達成されているかどうか〉 1期プランについて県連合会及び21商工会で評価を実施し、これまでの取組を検証するとともに、2期プランにつなげる課題を抽出するなど商工会創生プラン全体のPDCAサイクルを効果的に回している。										
【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況					【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)					<b>a</b>
〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉 2期プランの策定にあたって、スケジュール管理を行い、論点を整理したうえで会議を開催したことで、効率的に意見集約することができた。										
<b>2. 総合評価・理由</b> A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合										<b>A</b>
1期プランの戦略・施策・事業評価を実施し、概ね順調であるという評価結果をホームページ上で一斉に公表するとともに、2期プラン策定委員会と課題検討会を設置し、次なる10年を見据えたプランづくりに着手した。										
<b>3. 課題</b>										
評価を適切に行い事業の実効性を高めるとともに、効率的に制度を実施していくために評価シートの見直しが必要である。商工会アクションプログラムの策定にあたり、「目指す姿」や「共通戦略」を共有するとともに、商工会独自の課題を捉え戦略を導き出す必要がある。										
<b>4. 今後の対応方針(改善点)</b>										
事業評価の実施状況を検証するとともに、2期プランに向けて評価シートの見直しを検討する。1期プランの総仕上げとして商工会役員及び職員に対するアンケート調査を行うとともに、関係機関からの意見聴取やパブリックコメントを実施し2期プランを完成させる。										